

※ いただいたご意見とそれに対する市の考えを基本計画(案)の該当ページ順に掲載しております。
 今回、基本計画(案)の修正は、番外の文字修正のみで、いただいたご意見は、今後の設計等の参考にさせていただきます。

No.	計画書の 該当ページ	意見	市の考え
1	3	豊前市が目指す教育方針…構想図から、高い知性と人権感覚を持ち、かつグローバルな社会で競合できる人材を育成していく上でも、再編成後の学校規模は十分に期待できると感じています。そして、ここに掲げられた学校規模は、教職員人材育成の面からも理想的であると考えます。	児童生徒・教職員のバランスの良い学校を目指します。
2	4~8	適切な計画であり、新しい中学校に大いに期待します。	期待に沿えるように努めます。
3	6 児童生徒 数の推移 等	生徒数が多いと生徒指導等問題も多いが、部活動等も充実し、生徒の活躍の場も多くなるので活気があります。そして生徒はたくさんの人と関わるため、人間関係に悩んだりしながら強くなり成長していく様子もみられます。 現在、市内の中学校では人数が少なく大会に出られない部活動もあり、生徒が活躍できる場が少なくなっています。 大規模校の良さに、各校の少人数だからこそその良さやこれまでの取組を生かしていけば、よりよい学校になるのではないかと思います。	部活動の充実に努め、少人数学級の取組も継続して行える学校を目指します。
4	6	今後の児童生徒数の推移見込みから、20年先までも学校規模の適正化をフレキシブルに保障していこうとする構想は良いと思います。クオリティ高い教育も、学習環境特に安心して競合できるトレーニングの場(対多様化や豊富な選択肢)が弱体すると急激に質低下を招きません。将来にわたって2段階構成で児童生徒の学びの環境を保障しているので、当面は安心できます。	児童生徒数の減少が緩やかになるような教育に努め、今後も将来を見据えた学習環境の整備を検討していきたいと思います。

No.	計画書の 該当ページ	意見	市の考え
5	7~8	<p>通学区域について 地図でわかるように今回の学校再編において新設校は八屋・宇島・千束に偏ることになる。これは適正配置ではない。たとえスクールバスを出しても便利な市街地に今後若い人たちは住むようになる。また、吉富町と組合立学校について話ができていることも問題。三毛門地区の子どもは北小学校で学び、宇島八屋地区の子どもと別れて吉富中学校に行くことになる。将来の小中一貫の良さととの兼ね合いも問題。</p>	<p>学校再編成にあたっては、今後、適正な規模が持続可能であるという観点から、一部の学校を統廃合するのではなく、全市的に4つの学校に再編成することとしました。その場所としては、旧築上中部高校跡地と南部グラウンドを含む合岩小学校敷地及び現校舎等を利用可能な現八屋中学校・千束中学校を活用することが最適であると判断しております。</p> <p>吉富中組合との関係については、現状維持を基本とすることで相互の理解を得ており、今後の状況を見ながら今後も協議を重ね、良い方向を目指してまいります。</p>
6	8、35、48	<p>児童想定数・学習環境・教室レイアウト ここでは現在文科省が段階的に進めている35人学級をもとに考えている。しかし、当時の萩生田大臣の会見にもあったように本来は30人学級を目指していた。しかし財務省との折り合いの中で35人学級が決定して進められている。鳥取県などは先駆けて30人学級での整備をしている。豊前市でも30人学級を想定すべきではないだろうか。30人学級が実現すれば、オンリーワンの学校になる。</p>	<p>教職員定数の配置は国の基準に基づき福岡県が行っており、豊前市独自で30人学級とした場合、不足する教職員配置は市の単独予算となり難しいと考えます。</p> <p>一方、小規模のままでは配置されない高学年専科教員の活用を通して充実した教育の実現に努めます。</p>
7	16	<p>現合岩小学校の課題の整備について この課題に岩岳川に近いということがある。確かに防災マップによると建物への浸水等は想定されていないが、河川がすぐ近くを流れていることは注意が必要。堤防の設置や定期的な浚渫が必要と考える。また、避難所となった時、河川を越えて避難しなければならない人たちにとって危険を伴うことになる。避難所となることがP43で示されているが、その利用過程の考慮がない。</p>	<p>合岩小学校は、福岡県が今年度作成した岩岳川の浸水地域にも指定されていませんが、河川が近くを流れていることなどを十分考慮し防災担当と情報共有し、対策に努めます。</p>
8	35.48	<p>学習環境には、今後も見据えて感染症対策に応じる教室サイズは良いと思います。また、学年ユニットに指導スタッフ向けのミーティングスペースがあると時期的に必要な教具の事前搬入や各種学年学級事務作業はもちろん、学年内のミニ会議ができます。各スペースにオンライン送受信等の環境は教育の手段としてあらねばならぬものと考えます。</p>	<p>いただいたご意見は、今後の設計段階で考慮しながら最適な配置での学校を検討します。</p>

No.	計画書の 該当ページ	意見	市の考え
9	37	<p>学校生活環境について ゆとりある生活環境が示されていることは評価したいが、最近、性の多様性についてもっと配慮しなければならないように思う。男女で単純に分けることだけではなく、LGBT問題に対応するトイレや更衣室等考えることが必要と思う。ついでながら、制服にも配慮が必要。場合によっては制服を指定しないことも考えてよいのではないかと思う。</p>	<p>性の多様性についての配慮は必要であると考えます。そのため、多機能トイレや共用トイレを男女別トイレの中央に設置するなど、設計時に考慮していきたいと思います。制服についても、(仮称)開校準備委員会等で協議し、適切に準備してまいります。</p>
10	32.33	<p>3-2-2特色ある教育活動の推進(3)に、1-2-1豊前市が目指す教育方針「(2)自分の命、他人の命を大切にすることの育成」に対応する内容を盛り込むと良いのではないのでしょうか。いじめを生まない教育活動を新しい小・中学校でもぜひ継承していただきたいと思います。</p>	<p>「⑤郷土豊前を愛する人材の育成」の中で命・人権プログラムを明記しており、具体的な取組については、現在の良い教育活動はしっかりと継承してまいります。</p>
11	39 3-3-3 執務環境	<p>教職員の執務環境も、児童生徒の環境と同じく大切になると思います。そのための男女部屋のロッカールームを4つの学校すべてに整備していただきたいと思います。 また、新設中学校においては、職員室を思いっきり広く取り、ゆったりとした机の配置、オープンスペースの確保ができれば良いと思います。</p>	<p>ご意見を参考にできる範囲で取り入れていきたいと考えます。</p>
12	40～42	<p>地域連携 豊前市の住民組織の基本は区という自治会である。その区の連合が小学校区である。学校再編はそれを大きく変えることになる。学校が残る八屋、宇島、千束、合河にとっては連携がしやすいが、ほかの校区にとってはほぼ他人事である。さらに残念なことにその自治会を支える組織が崩壊しつつある。子ども会や老人会は解散が増え、区長のなり手がいない。地域づくりは進んでいない。組織は大きくなりすぎるとまとまりが難しくなる。</p>	<p>学校再編によって、自治会の単位を変更することはありません。これまでどおり、自治会活動は公民館単位で行っていただきたいと思いますが、地区単位に小学校がなくなると活動に影響があるかもしれませんが、今とは少し異なる関係づくりができるよう地域づくり協議会などを通じて、市も協力していきたいと考えております。現在も合河と岩屋は合岩小学校で一つですが、岩屋地区と合岩地区という地区単位での活動は継承されています。</p>
13	53	<p>災害時等の緊急避難場所として、粉塵が舞い上がらないヘリポートを希望します。また、児童生徒が緊急避難できるシェルターが備わっていると安心です。</p>	<p>学校敷地内での設置は場所の確保、費用面から難しいと思われませんが、設計段階で、防災担当とも協議します。</p>

No.	計画書の 該当ページ	意見	市の考え
14	53～63	豊前中央中学校の施設等は、今日的課題(ICT教育、特別支援教育等)への対応を見据えたものとなっているため、保護者も安心して通わせられる学校となっていると考えます。また、多くの教員を配置できることで、教育課程内の教育活動はもちろんのこと、部活動などの充実も図れることが期待できると考えます。	今日的課題への対応や部活動の地域移行など、今後検討していくべき課題について、学校再編のスケジュールとつなげながら、適切に検討を進めてまいります。
15	53～85 第4章 施設計画 の方針	4つの学校の配置計画については、複数案がわかりやすく整理されていると思います。4校ともに、計画案中で最も適していると感じた案が良いと思います。4校ともに、メディアセンターを1階に設けて地域ラウンジとして活用しようとしていることもとても良いと思います。豊前北小学校・中央小学校には職員室とは別にオープンスペースのミーティングルームなどを作るなどして、研修会等を行える場所があると良いと思います。北小学校は職員室西側に隣接して、中央小学校は職員室南側に増築することを検討しても良いのではないかと思います。	中学校を改修して新設する小学校は、人数に合わせた最低限の増築(給食調理室と職員室)と考えておりますが、どのような工夫が出来るのか検討します。
16	54～56	豊前中央中学校設置計画について、テニスコートの工事計画は以前の築上中部高校からの問題点と同様、方角の問題(コートの向きは東西であり太陽光でボールが見にくい)テニスコート設置の際に一番注意すべく点である事と近隣住宅が近く苦情が多かった事から、以前からの問題点を改善せず設置する事のないようお願いします。また、大会での使用も可能な4面オムニでの整備をお願いします。	基本計画では、施設全体の配置計画を行うなかで、設置費用も考慮し、旧築上中部高校のテニスコートの活用を検討しています。今後の設計の段階で、いただいたご意見を十分に考慮しながら最適な配置での学校を目指していきます。
17	54等 中学校の 施設規 模・施設 構成 について	特別教室について ・学年5クラス規模の中学校であれば、理科室は最低でも2教室(化学・生物実験室、物理実験室)設置してほしい。 ・音楽室の設置場所は、防音対応の教室であっても、その他の教室とは離して設置するように配慮してほしい。 ・技術室については、木材加工用の製材機器や旋盤、ドリル等の機器を設置することが多く、振動等への配慮のため2階以上のフロアに設置しないでほしい。	中学校の理科室は2教室必要と考えており、その他の諸室についても設計段階で学校現場と協議を行っていきます。

No.	計画書の 該当ページ	意見	市の考え
18	54等 中学校 施設規模・ 施設構成	室内運動場、武道場について ・保健体育の授業とともに部活動での活用が想定され、卓球をどの場所で行うことを想定しているか不明である。できれば、卓球場の設置もお願いしたい。	今後、地域に移行されていく部活動の在り方を含め、部活動の数・種類を協議し、設計に組み込んでいきます。
19	54等 中学校 施設規模・ 施設構成	テニスコートについて ・豊前市営テニスコートと同様に、オムニコートでの施工をお願いしたい。	いただいたご意見は、社会体育施設との関連も含めて検討していきます。
20	54等 中学校の 施設規模・ 施設構成 について	その他 ・グラウンドの周囲、または校舎敷地を周回できるような走路を、陸上競技場のようなタータントラックで施工してほしい。 ・多くの部活動を開設することを想定していても、現在、部活動の地域移行の動きが進行しているので、その部分(地域指導者等)とのすりあわせも必要である。	タータントラックなども含め、体育施設・部活動の施設をどのくらい理想に近づけられるのか、財政面や敷地面積なども十分に考慮し、設計を進めていきます。 地域指導者等の問題につきましては、今後、部活動の地域移行を検討する中で協議してまいります。
21	57	旧築上中部高校のテニスコートは使う上でいろいろと問題があったと聞いている。コート自体も古くて使いにくいし、近所から騒音等の苦情もあったようだ。位置はともかく新しいテニスコートを作ってほしい。男女合わせて4面は必要だと思う。できればオムニコートがいい。	理想とするテニスコートの条件をすべてを取り入れることは難しいと考えますが、いただいたご意見を設計段階で協議していきます。
22	64～85	既存の施設を活用して小学校の再編をすることは、コスト削減の面から考えても妥当であると考えます。もし、予算に少しでも余裕があれば、豊前市中央中学校のように新しい校舎で小学生も学ばせてあげたいという希望はあります。 3校あることで、各校で特色のある教育活動が実現し、子供達や保護者の選択肢も増え、学校教育が活性化することが期待できると思います。	新設小学校の施設は既存校舎の改修ですが、可能な限り内容の充実した学校づくりを目指します。

No.	計画書の 該当ページ	意見	市の考え
23	68	<p>特別教室が各1つしかないが、小と中で重なる可能性がある。もっと増やしてほしい。</p> <p>児童会室もあった方がいいのでは。</p> <p>校長室は狭くてもいいが、応接室が狭いと多くの来賓を迎えられない。</p> <p>入学式や卒業式で多くの来賓を迎え入れる部屋はどこにあたるのか。</p>	<p>義務教育学校は、9学級の学校としてカリキュラム調整を行い、特別教室の利用については学校対応と考えています。</p> <p>児童会室は生徒会室と共同活用と考えています。</p> <p>応接室は普通教室の半分の広さを検討していますが、狭い場合は、メディアセンターや芸術活動教室が利用できるかどうかなど、設計段階で学校現場と協議していきます。</p>
24	68	<p>校務センターがいわゆる職員室だと思いますが、校長室、事務室と少し離れていないでしょうか。更衣室を事務室に、事務室と芸術活動教室をつなげて職員室に、校務センターを廊下まで部屋に取り込んで芸術活動室にするのはいかがでしょうか。</p>	<p>現在の合岩小学校は部屋と部屋の間壁が耐震壁となっており、取り壊すことが難しい構造となっております。</p> <p>設計する中で再度検討事項としたいと考えます。</p>
25	70～77	<p>八屋中学校の配置計画はB案を採択されているが、その配置図で十分な駐車場を確保できるのか現地を見ても疑問を感じる。職員と一般合わせて50台以上とあるが、職員数を考えると一般分は20台確保できるかどうかと思うが、その程度で児童数が400人超える中、保護者と児童が安全に送迎が可能なのか。まさか、通いにくく不便なスクールバスに全員が毎日きちんと乗車するから大丈夫という甘い見直しをお持ちなのではないか。徒歩での通学が不可能な学区での通学を強要することになるのだから、スクールバス、徒歩、車での送迎いずれかで通学することを想定し、一般駐車場を十分に確保することは安全上義務だと思うがいかがか。もし、十分な駐車場がない場合、送迎車は路肩駐車車で児童を乗降させ、学校前の道路は渋滞を巻き起こし、非常に危険が伴うことになると思うがどうのようにするおつもりなのか。</p>	<p>児童の通学に関しては、徒歩通学または通学距離が2km以上の子どもはスクールバスを利用することを原則に考えており、特別な事情を除き車での送迎は認めない方向で検討しております。</p> <p>現在、八屋中学校の教職員は屋内運動場の東側にある駐車場をおもに利用しております。新設小学校では50台以上は最低限必要と考えており、設計や(仮称)開校準備委員会で検討するなかで、台数の増設も検討していきたいと考えています。</p>
26	72～77	<p>豊前北小学校配置計画について、設計計画ではテニスコート跡地を駐車場に整備すると表記され、撤去計画のようですが、今ある施設は十分活用出来(高校生、中学生含む)また、豊前市にはからすてんぐジュニアクラブがあり設立20年が過ぎ、現役、卒業生含め多くの子供たちが全国で活躍を続けている。毎年スポーツ功労者として表彰される中、少子化や共働き家庭の為、送迎や会場も少なく確保に苦労している。現八屋中学校にある施設は十分活用でき必要である。今後も豊前市を代表するスポーツ発展の為、存続を強くお願いします。</p>	<p>現八屋中のテニスコートの場所には、スクールバス乗降場・駐車場・遊具・学童の設置を検討しております。テニスコートを残す場合、これらの設備を校舎棟から離れたグラウンド側に設置し、グラウンドをさらにプール側に設けることになるため、現時点では、小学校施設の配置は、現案が最適であると考えております。今後も小学生の安全と利便性を優先して整備していきます。</p>

No.	計画書の 該当ページ	意見	市の考え
27	73～75	現八屋中学校のテニスコートは豊前市営コートと同じ規格で作られており、市内中学校で一番素晴らしいものである。大会等にも充分に使用できる物である。ジュニア育成のためにもテニスコートは残してほしい。バス乗り場は、少し狭くなるが部室・屋外便所と県道の間のスペースで充分である。駐車場についても同スペースおよび南校舎付近で対応できると考えられる。	No.26と同様 駐車場に関しては、児童の安全面を考慮しご意見の場所では狭いと感じます。
28	90 5-4	概算工事費は66億円とのことだが、「設計等にかかる費用を除く」のであれば、昨今の物価高を鑑みると費用はさらにかかる可能性が高い。 ①補助金で賄う金額②市の繰越金等の貯蓄で賄う金額③新たに借入する金額の明示を求める。③に関しては、借入金(国又は県からの借入、銀行借入、市債等の債券発行によるものかの明示)の金利、返済スキーム、市民一人当たりの年間の負担額×返済期間をきちんと明示し、この事業の財政的な妥当性の説明を求める。	今回の基本計画段階では、概略施設面積等からの概算工事費を計上しております。今後設計をするなかで、財政面からも有利な方法を検討し、その時点で予想される①～③の内容を市民の皆様にお示しできると考えております。 国・県の補助メニューや金額も年々変わってきており、市にとって有利な方法を検討しております。 また、再編事業ではなく、長寿命化計画に基づき現在の14校を維持していく方が財政面でさらに厳しい状況となることをご理解ください。
29	全体	学校の現場にいと、適正規模の児童・生徒数・学級数は必要であるとつくづく感じる人が多いです。小規模、少人数の学校・学級のよさは重々承知していますが、子どもたちの将来を考えると(社会に出たとき)、たくましく生きていくために、切磋琢磨してお互いに高め合う環境を整えるのは大人の責務だと考えます。 この時期の学校再編はラストチャンスだと考えます。	学校再編をして良かったと思っただけのよう努めます。
30	その他	スクールバス運用に関する記述が無かったが、どのような計画を立てているのか。①導入を考えているバスは何か②必要台数、購入金額、年間の維持費はいくらなのか③バス運用スケジュール(どのような順番で児童を乗車させるのか、出発時刻までどこで待機させるのか、バス乗降の出欠確認は誰が行うのか、悪天候時バスでの送迎が難しいが、学校は休校ではない場合どのように児童に登校させるのか)を明示を求める。	スクールバスについては、地域・保護者・学校で編成する(仮称)開校準備委員会で協議し、子ども達の安全を第一に決めていきます。 現在の検討案としては、 ①29人乗りバスを中心に考えています ②台数は12台程度、購入費用は1台約600万円、維持管理費は1台あたり1年間に約600万円を想定しております。(一部、国・県の補助有。交付税措置有) ③(仮称)開校準備委員会で協議していきます。 また、バスの送迎が難しいような悪天候では、学校と協議し休校等、子ども達の安全を図ります。

No.	計画書の 該当ページ	意見	市の考え
31	その他	学校、特に小学校は住民自治の柱の一つである。それを財政的に厳しいからと取り去ることは住民自治を壊すことになる。今回の再編も豊前市が特別ということではなく全国的に行われていることは理解しているが、国の合理化に従うだけの地方自治でいいのかと思う。ただ反対ということではないが、豊前市独自をいうのならあえて小規模学校で勝負することも独自の教育環境整備と考える。	地域に小学校がなくなることは、地域にとって大きなことであることは認識しておりますが、財政面だけから学校再編を検討しているのではなく、子どもたちの教育環境を一番に考え、学校再編成計画を行っております。小規模学校も良さがあふ必要と考えるため、小規模の義務教育学校を新設します。現在、市内すべての学校が小規模校である現状が更に進むことは、課題が多いと考えております。
32	その他	スクールバスについて 再編成基本計画(案)の中に詳しく記載がなかったので意見させていただきます。第2回通学区域審議会の要点記録によるとスクールバスは大村小学校は谷地区のみとなっていますが、大村校区の児童が少ないですし、新しい小学校までかなり距離があるため、全校もしくは希望者だけでも乗車させてほしいです。大通りを渡るので事故、事故の巻き添え、一番心配なのが昨今めだつ児童への変質者、声かけなどです。大村校区は田畑が広がり民家もありますが、防犯カメラの設置がないため、万が一誘拐などの事件が発生した場合、都会のように子ども、犯人の足取りを追うことが困難だと思います。このような極端な例は発生することはないでしょうが、万が一発生すれば取り返しがつきません。山田小学校はスクールバスとなっていましたので、希望者だけでも停留所まで連れていく、もしくは大村小学校前まで(豊前バスのコースのように)など条件付で柔軟なスクールバス運営をしていただけるとてもありがたいです。どうぞよろしくお願いいたします。	通学区域審議会の資料では、小学生のスクールバスは直線距離2km以上の行政区を基準に想定しており、実際の個々の通学距離での想定ではないため、参考程度にさせていただきたいと思ます。具体的なことは、今後、(仮称)開校準備委員会等で協議していきたいと考えており、いただいたご意見は、その際の協議内容のひとつとして検討してまいります。
番外	15	誤植:20行目「ランチルームは、」のあと	【修正】児童が給食で利用している
	37	誤植:6行目「時代を担う」	【修正】次代を担う
	44	誤植:9行目「災害時無線電話」	【修正】災害時優先電話
	45	誤植:5行目「耐震性の貯水槽等」	【修正】飲料水兼用耐震性貯水槽等